

赤池ハザードマップ

いざというときは

- ・避難は可能な限り浸水が始まる前に。
- ・動きやすい服装で、持ち出し品は最小限に。
- ・必ず徒歩で！足下に注意して避難。
- ・ため池直下（2 m～2.5 mの水深予想）：速やかに避難路を使って高台へ。
- ・ため池直下以外（50 cm未満の浸水予想）：建物の2階などに避難し、水が引いたら矢吹町立三神小学校に避難。

赤池ハザードマップは、万が一決壊した場合の備えとして、浸水の深さやいざという時の心構え、避難所などをハザードマップとして地図上に整理しました。

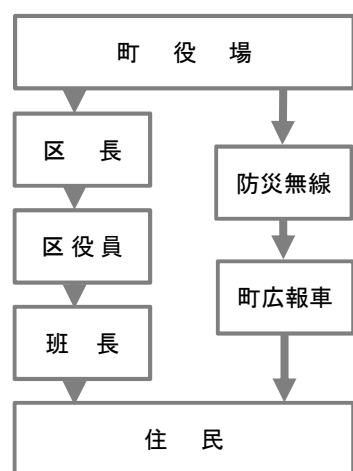
浸水の特徴を理解して、地域住民が話し合い、ハザードマップを理解することで、いざ防災情報を得た際に正しい判断・行動がとれるようになります。

よく目にするところに貼り、普段から家族や地域みなさんと話し合いましょう。

指定避難施設
矢吹町立三神小学校

災害時の情報伝達の流れ

※災害や避難の情報を伝達します



地震のあとの災害シナリオ

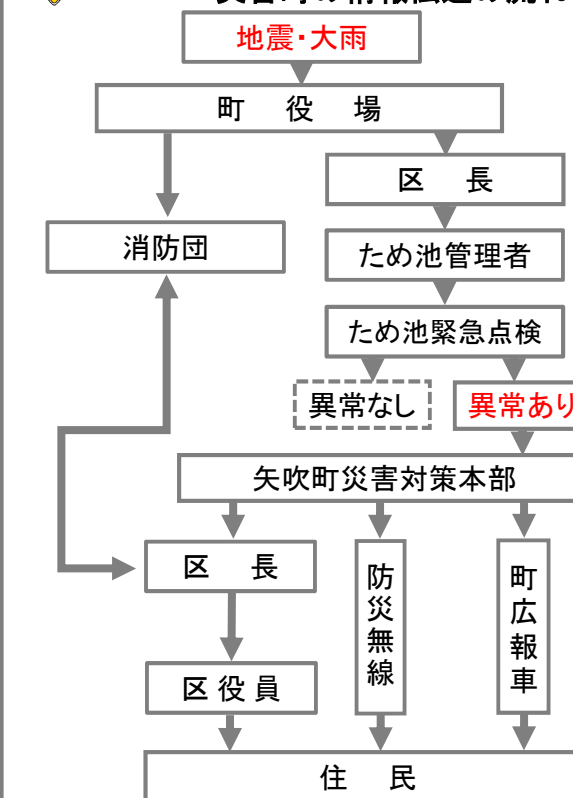
時 間	発生前	数秒～1分	1～3分後	5～10分後	約30分後～50分	落ち着くまで
地震情報	緊急地震速報	 発生	地震速報	被害の情報収集		
(TV・ラジオ)	(数秒前)		防災無線			
被 害	谷中集落に水が到達					
	○決壊しない場合 緊急放流で水位低下・点検					
※地震直後に決壊しなくても、数日後に決壊することがあるため、監視を継続						
行動の目安	少しでも安全な場所へ移る	いのちを守る	家族を守る 揺れがおさまったら、 高台や安全なところへ 避難	安全な場所へ 避難	避難所などで 待機し、町の 指示を待つ	

緊急連絡先

名称	電話番号
矢吹町役場	0248-42-2111
消防・救急	119
矢吹消防署	0248-42-3762
警察	110
白河警察署矢吹交番	0248-42-2212

緊急時の赤池管理体制

～災害時の情報伝達の流れ～



凡例

最大水深

